

年 度 評 価 シ ー ト

課名 文化振興課

施設の名称 <u>静岡科学館</u>	指定管理者名 (公財) <u>静岡市文化振興財団</u>
1 履行状況	
<p>(1) 目標達成</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 施設利用者数</p> <p style="margin-left: 40px;">目標値250,000人</p> <p style="margin-left: 40px;">実績値190,290人 (大人62,557人、小人127,733人) (前年度161,063人)</p> <p style="margin-left: 40px;">達成率78.2% (前年度比118.1%)</p> <p style="margin-left: 40px;">【参考】令和元年度 (コロナ前)</p> <p style="margin-left: 40px;">目標値255,000人</p> <p style="margin-left: 40px;">実績値219,830人、達成率86.2%</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 利用者満足度</p> <p style="margin-left: 40px;">目標値 99.5%、実績値 99.1% (前年度 99.3%)</p> <p style="margin-left: 40px;">達成率 99.5% (前年度比 99.8%)</p>	
<p>(2) 人員配置状況</p> <p style="margin-left: 20px;">事業計画書に則り、計画的に人員配置が行われている。</p> <div style="margin-left: 40px; border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content;"> <pre> graph LR DG[館長] --- CB[【事業担当】 統括(次長)] CB --- D[担当長(主査)] D --- PD[副担当長(主任)] PD --- EX[展示チーム] PD --- PA[企画Aチーム] PD --- PB[企画Bチーム] CB --- CM[【管理担当】 統括兼担当長(次長)] CM --- GA[広報チーム] CM --- GAFF[総務チーム] </pre> </div>	
<p>(3) 業務実施状況</p> <p style="margin-left: 20px;">第5期指定管理期間の初年度となった令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が減少し、5月から感染症分類も5類となったことから、事業の中止や延期は無く、事業計画に則り安定的に事業を展開することができた。</p> <p style="margin-left: 20px;">感染症5類以降に伴い、展示休止していた「おしゃべり砂もよう」を再開したほか、「音の部屋」「もしもしライト」などの運用制限を緩和し、展示フロア</p>	

での科学コミュニケーションの充実を図った。

ソフト事業については、事業計画書「IV 令和5年度 静岡科学館事業計画書」に規定する各種事業が滞りなく実施されている。主な事業の参加者数は以下のとおりである。

事業名	来場者数	目標値	達成率
サイエンスショー(全16回)	4,137人	2,900人	142.7%
テーブルサイエンス(全14回)	1,962人	1,750人	112.1%
わくわく科学工作(全16回)	2,468人	2,900人	85.1%
めばえのかがく(全12回)	651人	600人	108.5%
る・く・る展示トーク(全40回)	1,840人	2,400人	75.2%
オトナ楽しむカガクカン(全6回)	517人	480人	107.7%

(4) 第三者委託

展示物をはじめ、空調設備、エレベーター、防火シャッター、券売機の保守点検、建築基準法に基づく遊戯施設、昇降機の定期点検及び館内清掃業務について、専門知識を有する第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われている。

また、10階「ふしぎなステージ」マザーボード交換修繕等27件の修繕を適宜実施し、来館者が安全で快適に利用できるよう努めている。

その他、消防設備、機械警備及び防火対象物定期点検等、ビルの管理組合が一括して行う保守点検業務について、管理組合と連携し適切に行われている。

(5) 市との連携

静岡科学館の管理に係る協定書第5条で定められているとおりに、毎月終了後10日以内に、当該期間中に実施した業務についての定期報告書及び期間終了後2か月以内に当該年度における事業報告書が市に提出されている。

また、

(6) 危機管理

展示物を安全に使用していただくため、開館時の全展示物の稼働テスト及び閉館時の状況把握、施設内の巡回等、建築物や各種設備について異常がないか確認をしている。

また、緊急時等における来館者の避難誘導については、指定管理者である(公財)静岡市文化振興財団が定めている「震災等対策計画」等により非常時に備え、職員研修や避難訓練等を通じて、起こりうるさまざまなリスクに対し万全な体制を確保しており、緊急時・非常時には適切に避難誘導できる体制が整っている。

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

【具体的な意見・要望の内容と対応状況】

〈職員の対応等に対する意見〉

利用者からの意見①：

ロボンタが保存してあったら出してください

対 応①：

「ロボンタ」とは静岡市立児童館で展示されていたロボットで、現在は当館の収蔵庫内にある。今年度末開催の20周年企画展で展示予定だが、それにあたり修理が必要なため、すぐには展示できない旨を電話にて回答した。

利用者からの意見②：

8階の鉄道模けいは、一日数回職員がきて、動くかも…とのことですが、だったらちゃんと時間、日をきめてください。

対 応②：

8階に置いてある鉄道模型は、児童館時代からある古いものもあり、稼働させるためには定期的なメンテナンスが必要である。メンテナンス及び稼働には専門の職員があたる必要があり、鉄道模型の稼働は専門の職員の出勤時であることに加え勤務上都合がついた時のみの不定期なものとなっていることから、決められた日時に稼働させることは現状不可能という旨、また、現在ならば3/20～5/6まで開催中の20周年企画展無いで展示中の「手回し発電機で動かす鉄道模型」が体験可能なこと、企画展閉幕後も壊れるまでは常設予定になる旨をお電話にて回答した。

【検証・分析等】

利用者からの意見・要望に対しては要望等に対し電話にて回答する等、概ね適切な対応がとられており、即時の対応が困難である要望に対しても前向きに検討しており、良好な対応がなされているといえる。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

今後の施設運営へ反映させるため、施設利用者を対象にアンケート調査を実施した。

【調査結果】

回答者総数：614件、「満足」「やや満足」と回答した人の割合：90.3%

（前年度 総回答数：451件、「満足」「やや満足」と回答した人の割合：89.8%）

- ① 職員の対応の満足度 89.4%（前年度 89.6%）
- ② 清掃、整理整頓の満足度 93.8%（前年度 92.9%）
- ③ 案内表示、掲示板の満足度 89.9%（前年度 89.0%）
- ④ 開館日・開館時間の満足度 89.9%（前年度 89.1%）
- ⑤ 空調・音響・照明等の満足度 88.6%（前年度 88.2%）

【検証・分析等】

5項目の平均値で算出した満足度は90.3%（前年度 89.8%）であり、すべての項目が高い水準であることから、良好な評価を得ている。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

	収入	支出	収入－支出
令和4年度	243,434,413円	240,463,779円	2,970,634円
令和5年度	245,351,968円	239,550,452円	5,801,516円

前年度及び今年度ともに支出超過は見られず、チケット収入においては来館者数が前年比 29,227 人増加したことにより、令和4年度 25,456,387 円に対し、令和5年度 30,085,484 円と、約 460 万円増加したことから、良好な収入状況である。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

指定管理業務全般について、業務仕様書や事業計画書に従い良好に実施されている。

事業全般については、地元の大学や民間企業、研究機関等と連携し、各々が有する科学技術や研究活動について市民へ紹介するという工夫がみられ、静岡科学館の基本運営理念としている「Hands-on 科学館」を軸とした体験的な学びを普及している点が高く評価できる。

引き続き、今後とも積極的な広報活動や、展示の工夫、市民のニーズに応じた事業の展開に期待する。また、中高生や大人を対象にした事業を実施することで、幅広い年齢層の市民に対して科学へ関心を持つ機会を提供するなど、新たな利用層の拡大に努めてほしい。さらに、静岡市文化振興財団が有する科学分野専門職員の人的資源や、指定管理者として20年間蓄積している科学のノウハウや他施設等との連携といった強みを活かした施設運営を期待したい。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。